

既存擁壁外観状況報告書

建築主氏名		調査 年月日	令和 年 月 日
建築場所			
調査者資格・氏名 住所・連絡先	()建築士()登録第 _____ 号 会社名 _____ 氏名 _____ 住所 _____ TEL _____		
擁壁 の 概 要	規模、構造等	自己所有	種類 ※
		敷地 側・長さ m	高さ m～ m
		※擁壁の種類は表1を参考に記載してください	
	築造時期		
	確認済証又は開 発許可証の有無	無・有 (確認又は許可番号及び日付 _____)	
検査済証の有無	無・有 (検査済証番号及び日付 _____)		
調査結果	A最大点 + B最大点 = 総合点 + =	総合評価	I・II

※以下の項目については、検査済証が無い場合に必要となる事項

既存擁壁について、建築主へ下記内容及び別紙既存擁壁外観状況チェックシートの結果を説明し、擁壁の現状及び維持管理の重要性について理解を得たので報告致します。

- 1 擁壁の外観などに異常がないか定期的にチェックを行い、今後異常が見つかった場合は専門家へ相談の上必要な改善を行うなど、安全を確保するための処置を施すこと
- 2 擁壁にかかる構造的な負荷(重量)を現状以上に増やさないこと
(擁壁上部の土盛りや擁壁近くで構造物の築造を行わない)
- 3 当該地を第三者へ譲渡する場合は、上記内容を承継すること

説明実施日 令和 年 月 日

説明を受けた方の氏名 _____ 様
※建築主以外への説明である場合のみ記載

説明者の氏名 _____ 様

既存擁壁外観状況チェックシート

外観状況チェック項目(A及びB)					
A 周辺環境条件のチェック				点数	参照表
① 水 抜 き 孔 の 状 況	概ね内径75mm程度の水抜き孔が3㎡当たり1カ所程度設置されており、孔のつまりが無い	水抜き孔はあるが、径が小さい、数が少ない、あるいは孔が詰まっている	水抜き孔がなく、水が抜けにくい状況	5.0 ※擁壁上部宅地が不透水層で覆われているなど、排水が良好な場合は 3.0	表2
	1.0	3.0			
宅 地 の 擁 壁 の 排 上 水 部 施 設	擁壁側が水上勾配、又は排水溝が設置されており、排水施設は良好である	宅盤が平坦で浸透性の土である、または排水溝が壊れている	擁壁側が水下勾配で浸透性の土であるまたは排水機能が無い	5.0	
	1.0	3.0			
③ 裏 込 め 材 の 状 況	※水抜き孔や宅盤より鋼棒等で突くことによりチェック		/		
	裏込め材が全体にあり、良好である	裏込め材が確認できない			
	1.0	3.0			
				採用点数 (①～③の最大値)	点

◎調査の手順 下記の手順に従って外観調査を行ってください

- 上記の「A周辺環境条件のチェック」を行う(各チェック項目の点数の内、最大のものを採用します)
- 次ページの「B擁壁構造体のチェック」を行う(各チェック項目の点数の内、最大のものを採用します)
- 総合評価を行う (A, Bの各最大点の合計値によって、擁壁の安全性を2段階で評価します)
 - (5.0点未満) :現状において、緊急に改善を要する異常は見られません
 - (5.0点以上) :緊急に改善を要する異常が見られます
- 擁壁の種類が複数ある場合は擁壁種別毎に提出すること

B 擁壁構造体のチェック						
擁壁の状況		擁壁の種類			点数	参照表
		RC造擁壁 (重力式含)	間知ブロック等 練積み擁壁※ 1	その他擁壁 ※2		
① クラック (ひび割れ)	クラック無し	1.0	1.0	1.0		表3
	コンクリートの打ち継ぎ、又は積石の目地部分にクラック有り(幅5mm未満)	1.0	1.0	3.0		
	目地等以外の部分にクラック有(幅5mm以上20mm未満)	3.0	3.0	5.0		
	目地等以外の部分に多数の水平クラック又は幅20mm以上の大きなクラックがある	5.0	5.0	5.0		
② 不同沈下	不同沈下(目地の開き)無し	1.0	1.0	1.0		表3
	目地等部分に5mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	1.0	1.0	3.0		
	目地等部分に5～20mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	3.0	3.0	5.0		
	目地等部分に20mm以上の上下のずれ又は左右の開きがある	5.0	5.0	5.0		
③ 出隅部の開き	出隅部の開き無し	1.0	1.0	1.0		表3
	出隅部分に5mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	1.0	1.0	3.0		
	出隅部分に5～20mm未満の上下のずれまたは左右の開きがある	3.0	3.0	5.0		
	出隅部分に20mm以上の上下のずれ又は左右の開きがある	5.0	5.0	5.0		
ふく④ 擁壁の み	擁壁の表面にふくらみは確認できない	-	1.0	1.0		表3
	部分的なふくらみが見られる	-	3.0	5.0		
	全体的なふくらみが見られる、または積み石が落下している部分がある	-	5.0	5.0		
折れ曲がり ⑤ 傾斜	傾斜・折れ曲がり無し	1.0	1.0	1.0		表3
	擁壁全体がやや傾斜(前掲あるいは後掲)している	3.0	3.0	5.0		
	擁壁全体が明らかに傾斜している、または途中で折れ曲がりが見られる	5.0	5.0	5.0		
⑥ 鉄筋の腐食	鉄筋の腐食による影響無し	1.0	-	1.0		表3
	擁壁表面及び側面に鉄筋腐食によるクラック、ふくれ、錆汁等が部分的に見受けられる	3.0	-	5.0		
	擁壁表面及び側面に鉄筋腐食によるクラック、ふくれ、錆汁、コンクリートの剥離等が見受けられる	5.0	-	5.0		
				採用点数 (①～⑥の最大値)		点

※1 練積み擁壁は組積材が裏込コンクリートと一体化されているものに限る

※2 コンクリートブロック積み擁壁については対象外とし、福岡市確認申請の手引きの取り扱いによる

表 1 擁壁の種別分類表

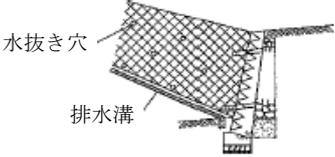
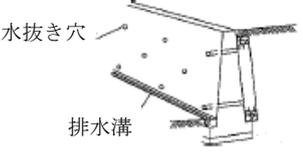
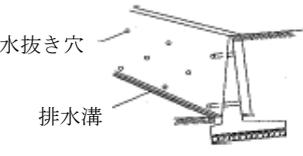
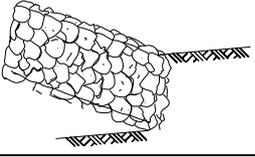
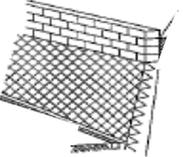
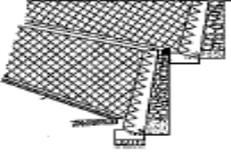
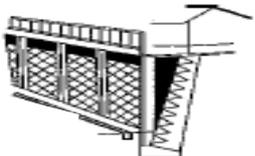
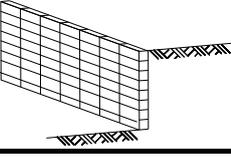
擁 壁 の 種 別		
【Aグループ】		
①	間知石・間知ブロック練積み擁壁 (裏込コンクリートにより組積材が一体化されたもの)	
②	重力式コンクリート擁壁	
③	鉄筋コンクリート造擁壁	
【Bグループ】		
①	ガンタ積み擁壁 (古いコンクリートの塊などを再利用して積んだ擁壁)	
②	空石積み擁壁 (玉石積み等含む)	
③	増し積み擁壁 ※上部がコンクリートブロック積の場合は、「福岡市確認申請の手引き」に基づき改修した上で適用する	
④	2段擁壁	
⑤	張出し床版付擁壁	
【外観状況チェックシートの対象外】 ※「福岡市確認申請の手引き」の取り扱いによる		
	コンクリートブロック積み	

表2 周辺環境条件のチェック

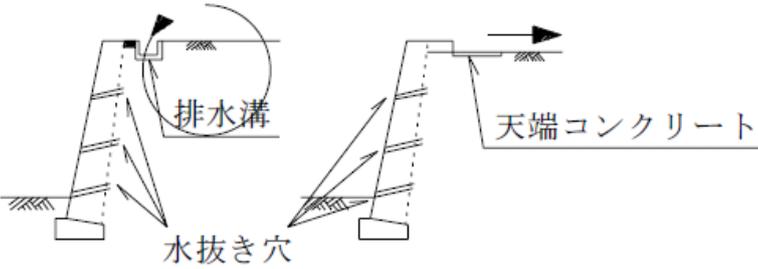
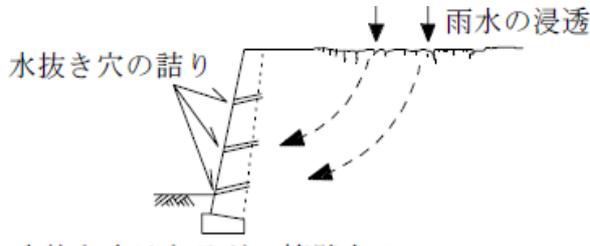
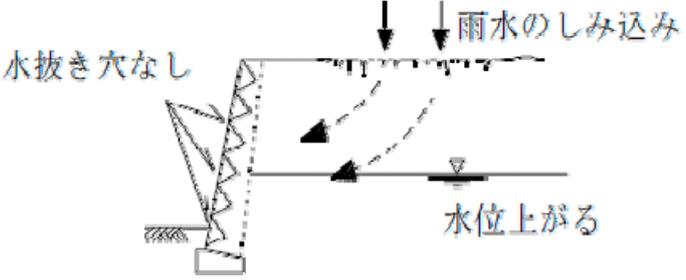
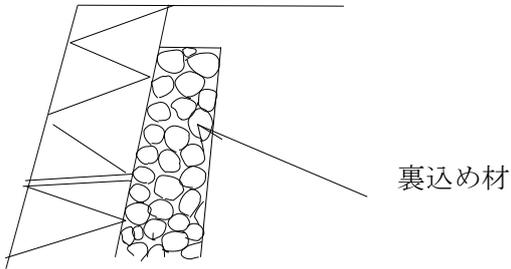
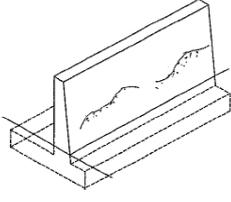
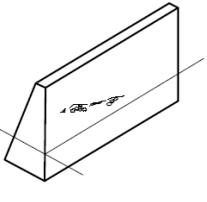
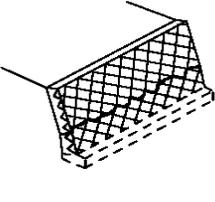
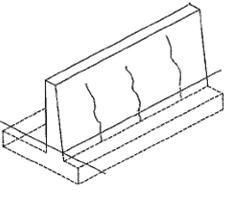
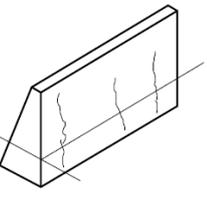
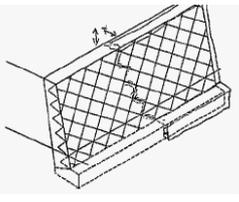
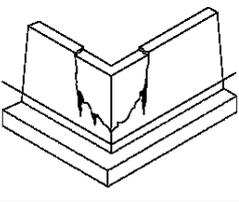
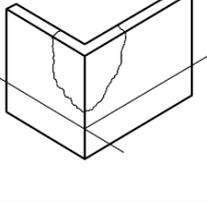
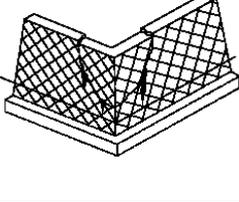
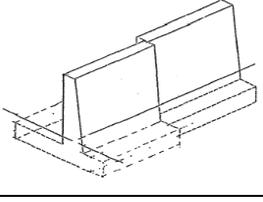
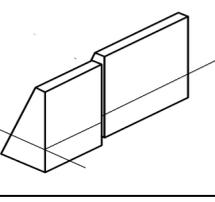
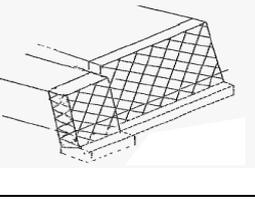
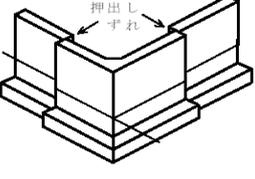
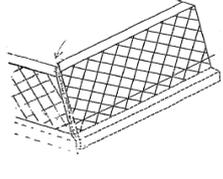
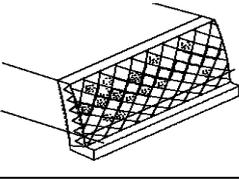
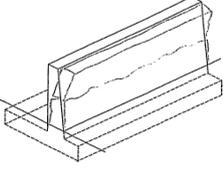
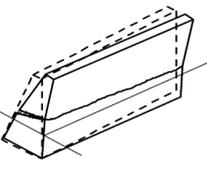
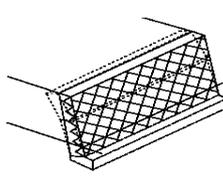
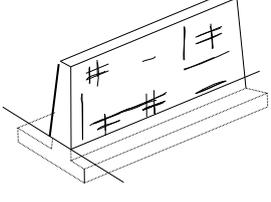
<p>① 水抜き孔 ② 擁壁上部宅地の排水施設 の状況</p>	<p>1.0</p>	 <p>擁壁の上の地盤も含め排水良好である。</p>
	<p>3.0</p>	 <p>水抜き穴はあるが、擁壁上の地盤に雨水が浸透しやすい状況にある。</p>
	<p>5.0</p>	 <p>水抜き穴なし</p> <p>雨水のしみ込み</p> <p>水位上がる</p>
<p>③裏込め材</p>		 <p>裏込め材</p>

表3 擁壁の状況

		鉄筋コンクリート造	重力式コンクリート造	練り石積み擁壁
クラック (ひび割れ)	横クラック			
	縦・斜めクラック			
	出隅部のクラック			
不同沈下				
出隅部の開き			—	
擁壁のふくらみ		—	—	
傾斜・折れ曲がり				
鉄筋の腐食			—	—